

未来の子どもたちに この森を残したい



鈴鹿市に、サッカー場建設についての説明会を行ってほしいという緊急要望書を8月24日に提出しましたが、その後、説明会の日程提案もなく、市長は会うこともなく、私たちにっては心配な日々が過ぎております。

「この森は生物多様性に富む森で、貴重な教育の場だ」「ヒメタイコウチなど絶滅危惧種もある」「アカマツ林も多く、市民の大事な憩いと運動の場だ」「森を壊すことは地球温暖化対策に逆行する」などの声は高まるばかりです。

それなのに、市長は、市議会などで、土地の形状を生かす、最小限の伐採にする、移植をするなどと言うだけで何の根拠説明（コンプライアンス）もないままです。このまま記者発表はしたということだけで逃げ切れることは許されません。

鈴鹿市は市民憲章のトップに「自然を愛し、緑豊かなまちをつくります」と掲げながら、何の説明もなく、貴重な森を切り倒すことを、知事と市長と業者だけで決めていいのでしょうか。

どうか心ある皆さん、問題の本質をしっかり見つめ、市民の手でこの暴挙にストップをかけましょう。

2021年9月14日

鈴鹿青少年の森を愛する会

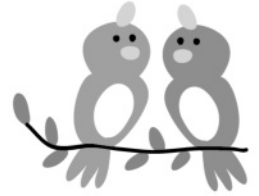
鈴鹿市と(株)アンリミテッドとの協定書より抜粋・・・

「鈴鹿青少年の森へのスタジアムの建設については、本市と三重県、(株)アンリミテッドの三者で協議を行い、(株)アンリミテッドからの使用料免除要望への対応から、本市が三重県から都市公園法第2条第1項の規定による申請を行い、設置管理許可を受けることで全額免除する方向で県と協議が済んでいます。」



9/19～10/17まで
毎週日曜日9時から11頃まで、
青少年の森公園で署名活動
を行っています。広げてください。





利用者にきちんと説明せず、 公園の貴重な自然の森を大量に伐採して、 サッカースタジアムを造るのは反対です。

鈴鹿市長と(株)アンリミテッドは三重県知事に要望して、県民みんなの持ち物(公共財)である青少年の森の50,350㎡をタダで業者に貸し与え、サッカースタジアム(5,000人収容、やがては15,000人)等を建設するという話を決めました。

- ①市は一方向的な記者発表だけで、市民や利用者には何の説明もしていません。
- ②森を壊すことので環境モニタリング、生態系に及ぼす影響評価も公開・閲覧されていません。
- ③鈴鹿市は市民憲章のトップに「自然を愛し、緑豊かなまちをつくります」と掲げながら、何の説明もなく市の中心にある大事な森を大量に切ろうとしています。
- ④青少年の森は自然豊かな貴重な木や鳥、生物が息づく森です。絶滅危惧種もあり、一度壊したら元に戻すことはできません。生物多様性は破壊され、取り返しがつかなくなります。
- ⑤青少年の森は長年、市民の憩いの場、子育てといのちの治療・癒しの場、環境教育や野外活動、林間学校、キャンプ、スポーツ練習の貴重な場となってきました。
- ⑥市長は、市議会で、土地の形状を生かす、最小限の伐採にする、移植をするなどと言うだけで何の根拠説明(コンプライアンス)もありません。
- ⑦昨今、温暖化防止、カーボンニュートラルも言われる中、緑を切ることは時代に逆行します。
- ⑧大量の木を切った後の天神池(道伯池)の排水・治水が心配です。
- ⑨市内にJリーグチームが誕生するのは大歓迎です。スタジアムは既存の施設の増設、石垣池公園陸上競技場の新增設で対応したり、クラウドファンディングで資金を調達したりして、サッカー場を造るべきです。
- ⑩(株)アンリミテッドの資金力から見て、チーム力増強(J1並みの優秀選手採用・獲得)力があるとは思えません。市民が納得できるチーム増強計画も市民に説明されていません。

2021年9月19日

《よびかけ人》 赤嶺和彦、足立房枝、市川美代子、内田信也、勝谷鐵幸、桑原篤、
佐倉邁、下井信夫、中村千代子、萩森繁樹、橋詰圭一、宮本英子、吉田一男



ネット署名もできます。
スマホからQRコードを
読み込んでください。

